

7/12

# ① ナットク! 企業と税金

## 損金

ソフトバンクグループ言葉遣いに戸惑つことも(SBG)が2018年多い。理解するためのキ3月期に税務上の赤字をワードが「損金」と「欠計上し、日本で法人税を損金」だ。

支払っていなかったこと。まずは損金。企業会計が6月に分かった。SBでは収益(売上高)からGが決算で公表した18年費用を引いて、もうけで3月期の最終的な損益はある利益を計算する。税黒字だったはず。なぜか。務会計では収入にあたるカギになるのが「企業益金から費用にあたる損金」と「税務会計」の金を引いてもうけを求めた。企業が報告する。これを課税所得と呼ぶ。企業会計は投資家なるが、計上するタイミングに業績動向を伝える成グや項目が異なる。株式たどえば取引先を接待投資や銀行の融資判断なるときに支払う交際どに使われる。ニュース費。企業会計では通常は報道で見聞きする企業の費用として扱うが、資本売上高や利益は、企業金が1億円を超える企業計にもとづいている。

税務会計は目的が異なる。税務当局が法人税のたぐさん使って節税する金額を把握するために使ことを防ぐためだ。役員報酬のなかにも損金にななじみが薄く、独特なものがある。

## 費用と異なる計上時期

企業会計と税務会計の主な違い

	企業会計	税務会計
目的	投資家などに業績を報告	税務当局が税額を算出
計算方法	収益－費用＝利益	益金－損金＝課税所得
費用・損金の計上時期	経済的な価値が減少したとき	実際に損失が発生したとき
赤字の繰り延べ	しない(損益計算書ベース)	最大10年間繰り延べできる
交際費の取り扱い	費用として計上可能	原則的に損金にならない

EY新日本監査法人の役割に変わりはない。山岸聡シニアパートナーと判断する。一般に廃棄は「損金は費用に比べて計上時期が遅れることが多し」と話す。アパレルメーカーを例に考えてみよう。夏物衣料が季節を過ぎて売れ残ると、企業会計では「来年は型落ちとなり定価では売れず、経済的な価値が減った」とみなす。在庫評価損と費用として計上する。夏物衣料が季節を過ぎて売れ残ると、企業会計では「来年は型落ちとなり定価では売れず、経済的な価値が減った」とみなす。在庫評価損と費用として計上する。

税務上は「衣服としていた。

企業活動のグローバル化やデジタル化で税務会計の複雑さが増している。「キーワード」をもとに企業と税金の関係をひもとく。

企業の立場でみると企業会計の赤字は避けたいところだが、税務会計の欠損金にはメリットもある。日本では欠損金が出ると最大10年先まで繰り越して課税所得を少なくできる。税支払額が年度ごとに大きくぶれるのを避ける意味がある。

大企業ではもうけである所得の半分を限度に、前年度の欠損金を活用できる。18年度に10億円の欠損金が生じ、翌19年度に12億円の所得があったとする。19年度は12億円の半分の6億円を限度に欠損金を活用できるため、課税対象を6億円まで抑えることができる。